

全国膠原病友の会 山口県支部会員の皆様

全国膠原病友の会 山口県支部
支部長 大木 容子

春爛漫の好季節、会員の皆様におかれましては健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年の講演会では、令和時代のSLEマネジメントをテーマに野島崇樹先生にご講演いただきました。秋には久保誠先生に膠原病治療の最新事情をご講演いただき、ステロイド単独時代から生物学的製剤の時代に変化してきたことを強く感じました。ステロイドの名称もグルココルチコイドという呼び方に変わりつつあり、SLEをはじめとする膠原病の治療薬は大きく進歩し、いくつかの免疫抑制剤が保険適用になりました。そして自己免疫疾患の治療薬としてヒドロキシクロロキン(プラケニル)が中心薬のひとつになっていることもわかりました。またベリムマブ(ベンリスタ)という生物学的製剤やリツキシマブなどの薬剤が有効な治療薬として使用できるようになっています。

これからの膠原病治療の目標は、寛解や低疾患活動性をめざすことも可能であると同時に、病気の再燃を抑え、最小限のステロイドでコントロールしつつ、治療薬の選択肢がかなり広がっていることは、私達患者にとって朗報です。

令和7年度総会講演会は下記のとおり開催いたします。講演会は、岡山大学学術研究院医歯薬学域腎・免疫・内分泌代謝内科学研究准教授 松本 佳則 先生にご講演いただく予定です。交流会もありますのでこの機会にぜひご参加ください。

2025年度

全国膠原病友の会山口県支部 総会・記念講演会

日 時 6月29日(日) 総 会 9:30～

講演会 10:00～11:30

交流会 12:15～14:00

場 所 山口グランドホテル 2F(新山口駅新幹線口前)

講 師 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

(腎・免疫・内分泌代謝内科学 リウマチ・膠原病内科)

准教授 松本 佳則 先生

演 題

膠原病治療に関する新しい知識・診療と課題を中心に
お話いただく予定です